

飯田短期大学 一般教育訓練明示書（介護福祉士実務者研修①）

講座の名称	介護福祉士実務者研修 無資格者課程				R7.4
実施方法	① 通学（ 昼間 ・ 夜間 ・ 土日 ） ② 通信 スクーリング(回数 8 回)				
指定講座番号(15桁)	2 0 2 0 0 6 8 - 1 9 1 0 0 1 2 - 2				
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間	過去一年の講座実績	入講者数(累積) (38人)	修了者数 (38人)	
2017 年 4 月 日	2028年 3 月 31日まで				
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	— 時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士実務者研修 修了			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		飯田短期大学			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		特になし			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		超高齢社会における介護現場の人手不足は深刻であり、1人でも多くの介護職員が必要とされている。かつ、認知症症状への対応や重度化する利用者への介護は、誰でもできる仕事ではなく、より高度な専門性が必要とされている。一方で、介護職の離職問題も深刻であり、一度介護職に就いた人が、長く働き続けられるようにしなければならない。そのためには、一定以上の教育を受け、専門的知識・技術の習得が不可欠であり、さらに他職種との連携やチームケアを理解し、遂行できる介護福祉士を目指す足がかりとなる資格である。			
2. 教育訓練の内容					
教科（カリキュラム）		時間	使用教材名		
通信	人間の尊厳と自立	5			
通信	社会の理解Ⅰ	5			
通信	社会の理解Ⅱ	30			
通信	介護の基本Ⅰ	10			
通信	介護の基本Ⅱ	20			
通信	コミュニケーション技術	20			
通信	生活支援技術Ⅰ	20			
通信	生活支援技術Ⅱ	30			
通信	介護過程Ⅰ	20			
通信	介護過程Ⅱ	25			
通信	発達と老化の理解Ⅰ	10			
通信	発達と老化の理解Ⅱ	20			
通信	認知症の理解Ⅰ	10			
通信	認知症の理解Ⅱ	20			
通信	障害の理解Ⅰ	10			
通信	障害の理解Ⅱ	20			
通信	こころとからだのしくみⅠ	20			
通信	こころとからだのしくみⅡ	60			
通信	医療的ケア	50			
スクーリング	介護過程Ⅲ	45			
スクーリング	医療的ケア演習	16			
合 計		466 時間			
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）					
①受講するに当たって必要な実務経験等		なし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		なし			
③その他					

※本書の講座実績は、令和5年度の開講状況をもとに作成しています。

飯田短期大学 一般教育訓練明示書（介護福祉士実務者研修①）

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況						
(1)資格取得状況						
① 前年度内の受講修了者数		38	人			
② ①のうち目標資格の受験者数		38	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数		38	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数		38	人			
2017 年 4 月 日						
① 回答者総数		37	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A:就業者計		
	2 非正社員、派遣社員	0	人			
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		0人	
	4 非就業	37	人	②B:非就業者計		
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転)	0	人			
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		0人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	14	人	④A:就業者計		
	2 非正社員、派遣社員	0	人			
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		14人	
	4 非就業者	23	人	④B:非就業者計		
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)		
	2 1割以上3割未満増加した	0	人			
	3 1割未満増加した	0	人			
	4 変わらない	0	人			
	5 1割未満減少した	0	人			
	6 1割以上3割未満減少した	0	人			
	7 3割以上減少した	0	人		0人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	3	人	⑥の回答数合計		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人			
	3 社内外の評価が高まる	3	人			
	4 早期に転職・再就職できる	1	人			
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	1	人			
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	4	人			
	7 趣味・教養に役立つ	22	人			
	8 その他の効果	2	人			
	9 特に効果はない	1	人		37人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	14	人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人			
	4 就職していない	23	人		37人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	21	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)		
	2 おおむね満足	9	人			
	3 どちらとも言えない	0	人			
	4 やや不満	0	人			
	5 大いに不満	7	人		37人	
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)						
講座修了後に、実務経験が3年以上ある者のほとんどが、介護福祉士国家試験を受験する。第36回の国家試験では、令和5年度の全受講者38名中、実務経験3年以上0名であるため受験者0名であった。 受講時は就労しておらず、修了後は資格を活かして就業する者がいる。						
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法						
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		受講期間の6か月を受講し、所定の受講科目及び時間数を修了すること。				
(通信制講座の場合)スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		場所:飯田短期大学 介護福祉棟／時期:主として6月～10月 期間・回数:介護過程Ⅲ6日間、医療的ケア2日間 受講条件:医療的ケアについては、通信課題の成績が可の者				
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法						
スクーリング科目の出席時間数は3分の2以上とする。 受講対象科目の評価がすべて「可」である場合に、本課程を修了したことを認定する。						

飯田短期大学 一般教育訓練明示書（介護福祉士実務者研修①）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	通信科目については、各科目の理解度を評価するために課題を提出させ、一定以上得点することを課している。不合格の場合は、助言を加えた後再提出させている。質問に対し、文書にて回答をしている。スクーリング科目についても、実技で評価し、一定以上の習得を目指し、不足分はデモ等を行い伝えている。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	当該年度に介護福祉国家試験に挑戦する場合は、国家試験対策講座を受講してもらい、修了後も国家試験までフォローしている。ほとんどの人が就労中であるが、希望があれば就職活動についての相談にもものる。

2017 年 4 月 日

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人 高松学園 (代表者名: 高松 彰充)
住所及び連絡先	〒395-8567 長野県飯田市松尾代田610 TEL 0265-22-4460
施設名称及び施設長名	飯田短期大学 (施設長: 武分 祥子)
住所及び連絡先	〒395-8567 長野県飯田市松尾代田610 TEL 0265-22-4460
給付制度担当部署・者	飯田短期大学 地域連携センター (担当者: 福沢 安奈)
連絡先	TEL: 0265-22-4467

一般教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	110,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	110,000 円
	(うち、必須教材費	13,824 円)
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0 円
	① 副読本代 (税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
	3. 総額 (1 + 2) (税込額)	110,000 円

〔特記事項〕

在学生受講料割引あり・卒業生及び在学生の家族の受講料割引制度あり。受講料の納付時に行う。

その他: 開講初日にオリエンテーション及びテキスト等の配付を行う。

飯田短期大学 一般教育訓練明示書（介護福祉士実務者研修②）

講座の名称	介護福祉士実務者研修 介護職員初任者研修修了者課程												R7.4
実施方法	① 通学（ 昼間 ・ 夜間 ・ 土日 ② 通信 スクーリング(回数 8 回)												
指定講座番号	2 0 2 0 0 6 8 - 1 9 1 0 0 2 2 - 5												
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積)（0 人）					修了者数（0人）					
2017 年 4 月 1 日	2028 年 3 月 31 日まで												
訓練期間	6 ヶ月		総訓練時間					— 時間					
1. 教育訓練目標													
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士実務者研修 修了											
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		飯田短期大学											
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		特になし											
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		超高齢社会における介護現場の人手不足は深刻であり、1人でも多くの介護職員が必要とされている。かつ、認知症症状への対応や重度化する利用者への介護は、誰でもできる仕事ではなく、より高度な専門性が必要とされている。一方で、介護職の離職問題も深刻であり、一度介護職に就いた人が、長く働き続けられるようにしなければならない。そのためには、一定以上の教育を受け、専門的知識・技術の習得が不可欠であり、さらに他職種との連携やチームケアを理解し、遂行できる介護福祉士を目指す足がかりとなる資格である。											
2. 教育訓練の内容													
教科（カリキュラム）			時間		使用教材名								
通信	社会の理解Ⅱ		30										
通信	介護の基本Ⅱ		20										
通信	コミュニケーション技術		20										
通信	介護過程Ⅱ		25										
通信	発達と老化の理解Ⅰ		10										
通信	発達と老化の理解Ⅱ		20										
通信	認知症の理解Ⅱ		20										
通信	障害の理解Ⅱ		20										
通信	こころとからだのしくみⅡ		60										
通信	医療的ケア		50										
スクーリング	介護過程Ⅲ		45										
スクーリング	医療的ケア演習		16										
合 計			336 時間										
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）													
①受講するに当たって必要な実務経験等		なし											
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		介護職員初任者研修を修了している者											
③その他													

※本書の講座実績は、令和5年度の開講状況をもとに作成しています。

飯田短期大学 一般教育訓練明示書（介護福祉士実務者研修②）

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1)資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	0	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(②/①)	-	%
③ ②のうち合格者数	0	人	合格率(③/②)	-	%
④ 上記②・③の回答者数	0	人			
(2)受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	0 人				
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0 人	②A:就業者計		
	2 非正社員、派遣社員	0 人			
	3 その他の就業(自営業等)	0 人		0人	
	4 非就業	0 人		②B:非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	0 人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(轉)	0 人			
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0 人		0人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	0 人	④A:就業者計		
	2 非正社員、派遣社員	0 人			
	3 その他の就業(自営業等)	0 人		0人	
	4 非就業者	0 人		④B:非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0 人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)		
	2 1割以上3割未満増加した	0 人			
	3 1割未満増加した	0 人			
	4 変わらない	0 人			
	5 1割未満減少した	0 人			
	6 1割以上3割未満減少した	0 人			
	7 3割以上減少した	0 人		0人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0 人	⑥の回答数合計		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0 人			
	3 社内外の評価が高まる	0 人			
	4 早期に転職・再就職できる	0 人			
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0 人			
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	0 人			
	7 趣味・教養に役立つ	0 人			
	8 その他の効果	0 人			
	9 特に効果はない	0 人		0人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0 人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0 人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0 人			
	4 就職していない	0 人		0人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	0 人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)		
	2 おおむね満足	0 人			
	3 どちらとも言えない	0 人			
	4 やや不満	0 人			
	5 大いに不満	0 人		0人	
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)					
講座修了後に、実務経験が3年以上の者のほとんどが、介護福祉士国家試験を受験する。第36回の国家試験では、令和5年度の全受講者38名中、実務経験3年以上0名であるため受験者0名であった。					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		受講期間の6か月を受講し、所定の受講科目及び時間数を修了すること。			
(通信制講座の場合)スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		場所:飯田短期大学 介護福祉棟／時期:主として6月～10月／ 期間・回数:介護過程Ⅲ6日間、医療的ケア2日間／ 受講条件:医療的ケアについては、通信課題の成績が可の者			
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
スクーリング科目の出席時間数は3分の2以上とする。 受講対象科目の評価がすべて「可」である場合に、本課程を修了したことを認定する。					

飯田短期大学 一般教育訓練明示書（介護福祉士実務者研修②）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	通信科目については、各科目の理解度を評価するために課題を提出させ、一定以上得点することを課している。不合格の場合は、助言を加えた後再提出させている。質問に対し、文書にて回答をしている。スクーリング科目についても、実技で評価し、一定以上の習得を目指し、不足分はデモ等を行い伝えている。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	当該年度に介護福祉国家試験に挑戦する場合は、国家試験対策講座を受講してもらい、修了後も国家試験までフォローしている。ほとんどの人が就労中であるが、希望があれば就職活動についての相談にもものる。

8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人 高松学園 (代表者名: 高松 彰充)
住所及び連絡先	〒395-8567 長野県飯田市松尾代田610 TEL: 0265-22-4460
施設名称及び施設長名	飯田短期大学 (施設長: 武分 祥子)
住所及び連絡先	〒395-8567 長野県飯田市松尾代田610 TEL: 0265-22-4460
給付制度担当部署・者	飯田短期大学 地域連携センター (担当者: 福沢 安奈)
連絡先	TEL: 0265-22-4467

一般教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	90,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	90,000 円
	(うち、必須教材費	13,824 円)
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0 円
	① 副読本代 (税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
	3. 総額 (1 + 2) (税込額)	90,000 円

〔特記事項〕

在学生受講料割引あり・卒業生及び在学生の家族の受講料割引制度あり。受講料の納付時に行う。

その他: 開講初日にオリエンテーション及びテキスト等の配付を行う。

飯田短期大学 一般教育訓練明示書（介護福祉士実務者研修③）

講座の名称	介護福祉士実務者研修ホームヘルパー2級修了者課程				R7.4
実施方法	① 通学（昼間・夜間・土日） ② 通信 スクーリング（回数 8 回）				
指定講座番号	2 0 2 0 0 6 8 - 1 9 1 0 0 4 2 - 0				
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積)（0人）	修了者数（0人）	
2017年4月1日	2028年3月31日まで				
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	— 時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士実務者研修 修了			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		飯田短期大学			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		特に無し			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		超高齢社会における介護現場の人手不足は深刻であり、1人でも多くの介護職員が必要とされている。かつ、認知症症状への対応や重度化する利用者への介護は、誰でもできる仕事ではなく、より高度な専門性が必要とされている。一方で、介護職の離職問題も深刻であり、一度介護職に就いた人が、長く働き続けられるようにしなければならない。そのためには、一定以上の教育を受け、専門的知識・技術の習得が不可欠であり、さらに他職種との連携やチームケアを理解し、遂行できる介護福祉士を目指す足がかりとなる資格である。			
2. 教育訓練の内容					
教科（カリキュラム）			時間	使用教材名	
通信	社会の理解Ⅱ		30		
通信	コミュニケーション技術		20		
通信	介護過程Ⅱ		25		
通信	発達と老化の理解Ⅰ		10		
通信	発達と老化の理解Ⅱ		20		
通信	認知症の理解Ⅰ		10		
通信	認知症の理解Ⅱ		20		
通信	障害の理解Ⅰ		10		
通信	障害の理解Ⅱ		20		
通信	こころとからだのしくみⅡ		60		
通信	医療的ケア		50		
スクーリング	介護過程Ⅲ		45		
スクーリング	医療的ケア演習		16		
合 計			336 時間		
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		ホームヘルパー2級の資格を保有している者			
③その他					

※本書の講座実績は、令和5年度の開講状況をもとに作成しています。

飯田短期大学 一般教育訓練明示書（介護福祉士実務者研修③）

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況						
(1)資格取得状況						
① 前年度内の受講修了者数		0	人			
② ①のうち目標資格の受験者数		0	人	受験率(②/①)	-	%
③ ②のうち合格者数		0	人	合格率(③/②)	-	%
④ 上記②・③の回答者数		0	人			
(2)受講修了者による講座の評価等						
① 回答者総数		0	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A:就業者計		
	2 非正社員、派遣社員	0	人			
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	0人		
	4 非就業	0	人	②B:非就業者計		
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転)	0	人			
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない		人			
④ 受講後の就業形態	1 正社員	0	人	④A:就業者計		
	2 非正社員、派遣社員	0	人			
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	0人		
	4 非就業者	0	人	④B:非就業者計		
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)		
	2 1割以上3割未満増加した	0	人			
	3 1割未満増加した	0	人			
	4 変わらない	0	人			
	5 1割未満減少した	0	人			
	6 1割以上3割未満減少した	0	人			
	7 3割以上減少した	0	人			
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	⑥の回答数合計		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人			
	3 社内外の評価が高まる	0	人			
	4 早期に転職・再就職できる	0	人			
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0	人			
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	0	人			
	7 趣味・教養に役立つ	0	人			
	8 その他の効果	0	人			
	9 特に効果はない	0	人			
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人			
	4 就職していない	0	人			
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)		
	2 おおむね満足	0	人			
	3 どちらとも言えない	0	人			
	4 やや不満	0	人			
	5 大いに不満	0	人			
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)						
講座修了後に、実務経験が3年以上の者のほとんどが、介護福祉士国家試験を受験する。第36回の国家試験では、令和5年度の全受講者38名中、実務経験3年以上0名であるため受験者0名であった。						
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法						
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		受講期間の6か月を受講し、所定の受講科目及び時間数を修了すること。				
(通信制講座の場合)スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		場所:飯田短期大学 介護福祉棟／時期:主として6月～10月 期間・回数:介護過程Ⅲ6日間、医療的ケア2日間/ 受講条件:医療的ケアについては、通信課題の成績が可の者				
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法						
スクーリング科目の出席時間数は3分の2以上とする。 受講対象科目の評価がすべて「可」である場合に、本課程を修了したことを認定する。						

飯田短期大学 一般教育訓練明示書（介護福祉士実務者研修③）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	通信科目については、各科目の理解度を評価するために課題を提出させ、一定以上得点することを課している。不合格の場合は、助言を加えた後再提出させている。質問に対し、文書にて回答をしている。スクーリング科目についても、実技で評価し、一定以上の習得を目指し、不足分はデモ等を行い伝えている。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	当該年度に介護福祉国家試験に挑戦する場合は、国家試験対策講座を受講してもらい、修了後も国家試験までフォローしている。ほとんどの人が就労中であるが、希望があれば就職活動についての相談にもものる。

8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人 高松学園 (代表者名: 高松 彰充)
住所及び連絡先	〒395-8567 長野県飯田市松尾代田610 TEL 0265-22-4460
施設名称及び施設長名	飯田短期大学 (施設長: 武分 祥子)
住所及び連絡先	〒395-8567 長野県飯田市松尾代田610 TEL 0265-22-4460
給付制度担当部署・者	飯田女子短期大学 地域連携センター (担当者: 福沢 安奈)
連絡先	TEL: 0265-22-4467

一般教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		90,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)		0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)		90,000 円
		(うち、必須教材費	13,824 円)
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		0 円
	① 副読本代 (税込額)		0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		0 円
	③ 施設維持費 (税込額)		0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		0 円
	3. 総額 (1 + 2) (税込額)		90,000 円

〔特記事項〕

在学生受講料割引あり・卒業生及び在学生の家族の受講料割引制度あり。受講料の納付時に行う。 その他: 開講初日にオリエンテーション及びテキスト等の配付を行う。
